



球美の里だより No.2

2017 年夏の学童保養が始まっています

球美の里では、今年も夏休みの期間に 3 回、学童保養が行われます。1 回目は 7 月 19～26 日、2 回目は 8 月 3～10 日、3 回目は 8 月 18～25 日です。各回 50 名前後の小中学生が、沖縄・球美の里で保養をします。今は 1 回目の真っ最中！子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。球美の里の様子を、ぜひ、ブログをご覧ください。

☆沖縄・球美の里のブログ：<http://kuminosato.blog.fc2.com>

* 検索サイトで「球美の里保養日記」で検索していただけます。

期待に胸を膨らませて、球美の里に向かう子どもたち（羽田空港にて／7 月 19 日）



新宿区から助成金をいただきました

球美の里の東京本部は、新宿区の高田馬場駅前のビルにあります。新宿区では、新宿区内に本拠地を持つ NPO 法人に対して、「新宿区 NPO 活動資金助成事業」を行っています。目的は「さまざまな課題の解決に取り組む創意と工夫にあふれる自主的な NPO 法人の活動を、事業に必要な資金を助成することにより支援する」というもので、新宿区民や団体・事業者からの寄付金を積み立てた「協働推進基金」が財源になっています。

今春、球美の里も助成を申請し、今年度の助成をいただくことができました。今年は 9 団体から申請があったそうですが、最終的に 5 団体に対して合計 150 万円余の助成金が支給されることになりました。球美の里への助成金は、学童保養（夏休み・冬休み・春休みで計 6 回）の同行引率者（1 回 2 名／計 12 名）の渡航費用の一部と、広報活動等に使用することになっています。

助成金はもちろんのこと、球美の里の活動を有益と区が認めて支援してくれることを大変嬉しく思っています。助成の一環として、8 月には区のセンターで写真展も予定しています（下コラム参照）。このような活動を通じて、本部の地元、新宿でも支援の輪を広げていきたいと考えています。

新宿区在住の方の同行ボランティアも大募集中です。新宿区在住の方、いかがでしょうか。新宿区にお知り合いがいいたら、是非お声をかけてください。よろしくお願いします。

* 夏休み保養の同行ボランティアは決まりました。冬休みと春休みの保養の同行をご検討ください。

球美の里 5周年 感謝祭

日時：2017年11月19日（日）午後
場所：久米島 具志川環境改善センター & 球美の里
特別ゲスト：加藤登紀子さん
（詳細は後日ホームページにて）

< 球美の里にめんそうれ！新宿展 >

新宿区の施設で、球美の里の小さな写真展を開催します。球美の里の様子を、球美の里の創設者でフォトジャーナリストの広河隆一や、保養に参加した子どもたち、ボランティアスタッフなどが撮った写真でご紹介します。子どもたちの絵も展示します。ぜひ、足をお運びください。

☆場所：新宿区戸塚地域センター ギャラリー1階 ☆入場無料

（新宿区高田馬場2-18-1／JR・東京メトロ・西武新宿線の高田馬場駅から徒歩3分）

☆日時：2017年8月11日（金・祭）～17日（木） 10：00～19：00

* 11日は12：00～19：00／13日は休館日

Smile Smile

球美の里では、70次～76次(2017年2～6月)までの間に、190人の子どもたち、73人のお母さんたち、合計263人が保養をしました。

海や外で思いっきり体を動かし、のびのびと遊び、ここでしかできない体験をたくさんすることができました。また、全国、時には海外からも大勢のボランティアさんが来てくださり、一所懸命お世話をしてくださいました。その姿に「将来ボランティアになりたい!」という子どもたちも増えています。子どもたちの笑顔でいっぱいのお母さんの様子をお伝えします。

保養日記 ～冬～

第70次母子保養／2017年2月 東北楽天ゴールデンイーグルスの茂木栄五郎選手と足立祐一選手が、キャンプの最中に球美の里に遊びに来てくれました。子どもたちもお母さんも大喜び!一緒に夕ご飯を食べ、抱っこしてもらったり、サインをしてもらったり。憧れの選手に会えて、「将来、野球選手になる!」という子もいました。大きくて優しいお兄さんに、みんな目を輝かせていました。楽天イーグルスは、例年、春季キャンプを久米島にある久米島球場やホテルドームなどで行っています。



第71次母子保養／2017年3月 東日本大震災から6年目を迎える3月11日に向けて、島の方々と一緒に追悼式を行いました。福島の方角に向かって、みんなで黙祷しました。「今でも記憶が蘇る」と涙を流すお母さんもいました。島の方が大勢来訪され、気持ちを一つにして手を合わせてくださいました。久米島高校からたくさんのお花をいただき、球美の里の周りにみんなで植えました。また、京都の支援者の方より、



素敵なモニュメントを寄贈していただきました。ありがとうございました。

第72次学童保養／2017年3月 冬の寒さも何のその。元気いっぱいの小・中学生たちがやってきました。毎日のようにみんなで外遊び。はての浜では、ボランティアさんと一緒に大ジャンプ!! ほとんどの子どもたちは、初めて見る青い海に大興奮でした!

「福島の子どもたちと昔遊びがしたい」と、交流会を希望してくださったのは、西銘老人クラブのみなさんです。これで3回目の交流となります。まず、竹とんぼや、紙鉄砲をつくって遊びました。老人クラブのみなさんが、子どもたち全員分の材料を用意してくださいました。カーリングに似たペタンクというゲームを一緒にしました。島のおじいやおばあに優しく教えていただいて、とても楽しい時間になりました。



保養日記 ～春～

第73次母子保養／2017年4月 この保養は、ほとんどのボランティアさんが幼児教育経験者で、子どもたちが喜びそうなプログラムをスタッフと一緒に考えてくださいました。雨の日は、一緒に歌ったり、絵本を読んだり、子ども向けの楽しい遊びをいっぱいしました。晴れの日には、海に行ったり、岩山や泥遊びをしたりして、思いっきり身体を動かしました。



第74次母子・学童保養／2017年5月 GWの保養は、赤ちゃんから高校生まで幅広い年齢層でした。リピーターが多く、お母さんたちの中には、毎年この時期に来るボランティアさんとの再会を楽しみにしている方もいて、久しぶりに会って喜びもひとしおでした。赤ちゃんの頃から通っている子が、話せるようになったり、歩きまわったりする姿に、スタッフも大感激しました。子どもたちの成長ぶりを実感する嬉しい回となりました。



♪保養にいらしたお母さんからのお手紙をご紹介します♪

私の娘は、震災の翌日に生まれ、病院から雨に濡れないようゴミ袋に入れて避難をしました。放射能をあびさせてしまった罪悪感があり、1年はほとんど外に出さずに室内で過ごさせる日々でした。・・・今回この保養に参加させて頂き、子どもの汗だくになって遊ぶ姿、海に入って生き物に触れる姿、今まで見たことない表情や行動を見て、6年間環境のせいで制限させてしまったことに親として反省しました。・・・今回の保養に参加できたこと、親子共々、感謝しております。たくさんの声に支えられていることを忘れず、子どもと一緒に、私も母親として成長していこうと思います。

第75次母子保養／2017年5月 島内のイベントが盛りだくさんの時期でした。お天気にも恵まれ、たくさんお出かけしました。地元の方のご厚意でヨットレースの見学に参加させていただき、大きなヨットに乗せてもらいました。舵も握って、気分は船長！大冒険に子どもたちも大喜びでした。



第76次母子保養／2017年6月 雨が多い回でしたが、島の方と積極的に交流を行いました。なでしこ保育園さんや島内の子育て支援サークルの「にじのひろば」さんに球美の里に来ていただき、一緒に遊びました。島の子どもたちはとにかく元気いっぱい！子どもたち同士、そしてお母さんたちもみんなあつという間に仲良くなり、楽しく遊びました。



久米島事務局より

FMくめじま 『Hello! 球美の里』

2017年1月から、FMくめじま『Hello! 球美の里』の放送をしています。放送は毎月2回、第1・第3金曜日の12時半から13時までの30分間です。

球美の里での保養期間中に収録がある時は、保養に参加されている方にゲストとして出演してもらい、保養に来た経緯や久米島の感想、福島での普段の生活の様子などを話していただいています。ゲストの方には、放送中に流す曲を2曲選んでもらいます。ドラえものの歌やAKBの歌を選ぶ子もいれば、『ていんさぐぬ花』や『島人の宝』など沖縄の曲を選ぶ子もいます。収録が始まって1曲目を流すまでの前半は、みんな緊張してなかなか思うように話せません。時間が経つにつれて、元気よく話してくれるようになります。

収録は、毎回、FMくめじまのマナーさん(宇江城久人さん)にサポートしていただいています。なお、収録が保養期間中でない場合は、お世話になっている久米島在住の方に出演していただいています。

FMくめじまの放送は全国で聞くことができます。スマートフォンをお持ちの方は、「ListenRadio(リスラジ)」というアプリをダウンロードしてください。アプリを開くと、地域を選ぶことができますので、九州・沖縄地域から「FMくめじま」を選択してください。パソコンをご利用の方は、「サイマルラジオ」というサイトに行き、一番下までスクロールすると「FMくめじま」があります。「FMくめじま」の横の音声のところのボタンを押すと、データがダウンロードされ、放送が聴けるようになります。

ぜひ、子どもたちの声を聞いてください。

☆サイマルラジオ：<http://www.simulradio.info/>

☆FMくめじまのホームページ：

<http://fmkumejima.com/>

☆7月下旬以降の『Hello! 球美の里』放送予定：

7月21日、8月3日・17日、9月1日・15日、
10月6日・20日。

*以後、毎月第1・第3金曜日の12時30分から30分間です。



ウィッシュユリスト

球美の里のウィッシュユリストに、たくさんの寄贈品をいただきました

球美の里では、ホームページに「リサイクル寄付のお願い」を掲載しています。みなさまからいただいた寄付金を、一人でも多くの子どもたちの保養費用にするために、保養にかかる経費の節減に努力しています。そのため、ホームページで「今、必要なもの」のウィッシュユリストを掲載して、消耗品や備品などのご寄付をお願いしています。



最近では、感染症予防のための使い捨てマスクや手袋、掃除機や洗濯洗剤、ハンドソープ、ライフジャケット(写真)などのご寄付をいただき、とても助かっています。また、ステンドグラス作家の飯出佐恵さんが寄付してくださったアクセサリーの販売金額で、冷蔵庫を購入することができました。ご協力くださったみなさま、ありがとうございました。

今後ともご協力をお願いいたします。

『たらちね・こども保養相談所』スタート

球美の里では、久米島・いわき・東京に事務局を置き、久米島では保養運営を、いわきでは保養者の募集や送り出しを、東京では広報や総務・会計など全体の業務を行ってきました。今年4月より、いわき事務局は閉鎖し、これまでいわき事務局の仕事を支えてくれていた認定NPO法人 いわき放射能市民測定室（愛称：たらちね）が立ち上げた『たらちね・こども保養相談所』で、引き続いて保養者の募集や送り出し業務をしていたことになります。こども保養相談所は、今後、支援の打ち切りや帰還の促進が進む中、保養のニーズが高まることが予想されるため、保養活動の幅を広げられるよう設立されました。

福島の小中学校に、球美の里の保養者募集のチラシを配布

たらちね・こども保養相談所では、福島子どもたちに保養を知ってもらい、一人でも多く、保養に行ってもらいたいと考え、福島県内の教育委員会に協力をお願いし続けていました。このたび、伊達市、二本松市の教育委員会から許可され、両市内の小中学校全校に球美の里のチラシを配布し始めました。また、郡山市と福島市では、「それぞれの学校の校長先生の許可があればOK」という教育委員会の許可が出たので、各校に連絡をして、送付の準備を始めました。一人でも多くのお子さんやご家族が保養のことを知り、保養に参加してくれるといいですね。



今回の NEWS LETTER では、たらちねの活動をご紹介します。

自分たちの目で確かめるために

2011年3月11日、東日本大震災による福島第一原発の事故で、大量の放射能が広範囲に拡散されました。たらちねは、「不安な生活を強いられている私たち自身が、よりよく、より強く生きていくために、自分たち自身で一つひとつ食べ物や水や土を測ることによって、被曝の事実を確かめる」ことを目的に、同年11月に、地元の主婦たちが中心になって立ち上げた民間団体です。



それから5年9ヶ月、たらちねは、市民の視点で、ていねいに根気よく測定を続けてきました。食品や水や土の測定はもちろん、身体全体の被曝を測定するWBCによる測定や、福島県内各地での甲状腺検診も続けています。また従来のセシウムの測定（ γ 線の測定）だけでは正確な被曝がわからないため、2015年4月には β 線ラボ（写真右）を設立して、ストロンチウム90やトリチウムの測定を始めました。同年9月には東電（福島第一原発）が海に放出している放射線汚染水の測定も始めています。さらに、被曝状況の測定だけでなく診察や治療を行えるようにと、この6月にはたらちねクリニックを開設しました。専門家ではない、ごく普通の主婦だった人たちが、知恵と気力を寄せ合って、支援者からの寄付を募り、助成を受けながら、とてつもなく大きな活動をしています。

たらちねクリニックオープン

今年6月1日に、たらちねは小児科・内科の診療や治療を受けられるクリニックをオープンしました。甲状腺検診などで異常がみつかったも、その治療が続けられる医院が少ないことや、被曝についての不安などを相談できる場所が必要と考えたためです。



▲たらちねクリニックでは、開所以来、日ごとに利用者が増えている。写真右は子どもの診察をする藤田医師。

たらちねクリニックでは、血液検査・甲状腺検診・WBC測定・尿検査（セシウム測定）・問診・心のケアなどを、保険診療で受けることができます（予約制）。診療は平日の9～12時、14～16時半です（土日祝休診）。担当の医師は、たらちねの甲状腺検診を最初の頃から担当して下さっていた藤田操医師です。子どもの血液検査を無料で行う『子どもドッグ』（毎月10名まで）もスタートしました。

月に2度（毎月第2・4木曜日）は黒部信一医師（球美の里の理事）による診療と子育て相談会が行われています。また、7月28日（金）に西尾正道医師の勉強会、8月3日（木）に渡辺久子医師の勉強会が開かれます。いずれも参加は無料ですが、事前の予約をお願いします。詳細は、たらちねクリニックにお問い合わせください（電話 0246-38-8031）。

☆たらちねのホームページ：

<http://www.iwakisokuteishitu.com/index.html>

ステキな未来をひきよせる覚悟! 第1回 おしどりマコ・ケン

球美の里を支援してくださってるみなさま、いつも本当にありがとうございます! 宴会担当、違った、演芸担当? の謎の理事のおしどりです!

球美の里に行って、子どもたちと遊んでいるとき、広河隆一さんに「球美の里の理事をやってちょうだい」と言われ、「えー理事って何をやるんですか? 私たち世の中の一般常識知らずの芸人ですよ?」と言うと「いつもどおりでいいから」いつもどおりって何だ! そんな感じで理事をやっております、すみません!

けれど、芸人だからこそ、私たちは子どもたちに「大人」扱いされなくて、こっそり子ども同士の本音を聞いてしまうことがあります。特に相方ケンパルは、ものすごい特異体質というか、あらゆる生き物のピラミッドのすぐ底辺に入りがちというか…(笑)。まだよく話せない3歳児にも、「ケンたん、しっかり喋り!」と突っ込まれたり、ドイツに行っても、みんなに甘えるワンコにケンちゃんだけからかわれたり。犬にからかわれるって何だ…ワンコがケンちゃんに甘えるフリをしてクンクン鳴いて、ケンちゃんがニコニコ近づくと急に「バウ!」と吠える。これ、何度も繰り返されていて、意図的にやってるのか! と驚きました。

球美の里でも、小学生の子どもたちの保養に合流して「おしどりでーす、よしもの芸人でーす」と挨拶をすると、みな「えー芸人!?!」「ほんとに!?!」と口々に言い出します。そして数時間後には、子どもたちにぶら下がられたり突っ込まれまくったりされてるケンちゃん。「もう勘弁してー! マコちゃん助けてー!」と叫ぶのも面白らしく、子どもたちのおもちゃにくなっています…

球美の里に初めて行ったとき、スタッフの方々やボランティアさんがたのミーティングで広河さんはこう言いました。「球美の里では、原発事故をすっかり忘れて、楽しむことだけに集中してもらいます。なので原発事故を連想させるようなことは絶対に言わないでください。『健康を回復して』や『自然で癒して』などの言葉も厳禁です。本当に、原発事故のことを全く忘れて、ここに保養で来ていることも忘れて、ただ楽しんでもらわなければいけません」なるほど!

しかし、球美の里で数日すごすうち、子どもたちとどんどん仲良くなるにつれて、子どもたちだけのお喋りの内容に、私は衝撃を受けるのです。スタッフやボランティアの方々がおらず、子どもたちとおしどりだけになると、段々お喋りの内容が変わります。

「マコちゃん、クイズ出すよ! 第一問! 子どもはどうやって作るでしょうか!」(小学生男子はセックスの話が好きね…) えー、わからへーん! 「まず、おばあちゃんが横になります」え、おばあちゃん? 「その上におじいちゃんも乗ります」おじいちゃん? 「そして、ひっひっふーと言います!」それ生むときちゃうの? 「朝になっ



たら赤ちゃんが生まれます!」大爆笑!

「じゃ第二問! 100ミリシーベルト浴びると、どうなるでしょうか!」(え…セックスの次はそんな質問!?) 私はかなり動揺して、どうなるの? と聞きました。すると「溶けて死にます!」なめくじか!

こんな感じで、原発事故のことを連想させない、ということ徹底していても、子どもたちは大人のいないところで、被ばくの話をとくさんしてきます。そして、子どもたちなりの勘で、セックスの話と同様、被ばくの話も大人の前ではしてはいけない、と感じているようです。

ゴハンまでの時間、輪になってお喋りしているとき、ヒソヒソ声で「なあ、マコちゃん、僕たちの半分ががんになるんだって。」するとそれを聞いた別の男の子が「じゃ、お前は胃がん!」「えー! じゃ、お前は肺がん!」それを聞きながら、私は、なんてこと…と立ちすくみました。がんや被曝の話題が、こんなに子どもたちに浸透しているなんて、そして大人たちに気付かれないよう、こっそり話しているなんて、と衝撃でした。

原発事故の汚染はたいしたことないのに、子どもたちにこんなストレスをかけるほうが悪い! という意見の方もおられるでしょう。(このニュースレターをお読みの方はおられないと思うけど!) けれど、私はいろいろな取材を重ね、事故の汚染が、数年後になってから、いろんな調査が出てきたことを知りました。例えば、6月末の保健物理学会では、2013年と2014年のマスクの解析調査の発表がありました。東京都のマスクにはセシウムは検出されなかったけど、2013年も、2014年も、福島県の方のマスクには、セシウムが検出されているのです。2013年の福島県のマスクには「セシウムボール」という溶けにくいガラス状の粒子も検出されました。マスクに付いているということは、マスクをしていない方々は吸い込んでいるということ。原発事故後、子どもたちにマスクを! という運動があったのに、「マスクをすると風評被害になる」と断った学校や行政も多々ありました。

必要なことは、自分で考えて自分で動くこと。そう思い、原発事故のあと取材を始めました。できることは全力で。できないことも思い切り。どうぞみなさんも一緒に!

文章・おしどりマコ 針金作品・おしどりケン

☆ おしどりマコ・ケンさんのプロフィール ☆

マコとケンの夫婦コンビ。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。(社)漫才協会・落語協会会員。2015年7月より沖縄・球美の里理事。

ケンは大阪生まれ、パントマイムや針金やテルミンをあやつる。パントマイムダンサーとしてヨーロッパの劇場をまわる。マコは神戸生まれ、鳥取大学医学部生命科学科を中退し、東西屋ちんどん通信社に入門。アコーディオン流しを経て芸人に。

東京電力福島第一原子力発電所事故(東日本 大震災)後、随時行われている東京電力の記者会見、様々な省庁、地方自治体の会見、議会・検討会・学会・シンポジウム取材。また現地にも頻りに足を運び取材し、その模様を様々な媒体で公開している。2016年12月に第22回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞を受賞。

☆おしどりポータルサイト:

<http://oshidori-makoken.com>

Information

★ 球美の里では今年6月末までに2,500名余の子どもたちの保養を行いました ★

球美の里では、2012年7月にオープン以来、年に十数回、1回1～2週間の保養を行ってきました。今年6月末までに、2,591名の子どもたち（保護者も含めると3,265名）が、久米島の自然の中で保養をしました。この夏休みには、学童保養を3回実施し、各回50名前後の小中学生が久米島で楽しい時間を過ごします。秋以降は、未就学児と保護者による母子保養や、いわ

き市・郷ヶ丘幼稚園の年長さんたちの保養（今年で4回目）、冬休み・春休みの学童保養を予定しています。今年度は全16回、約500名の子どもたちの保養を行う計画です（保護者も含めると600名余）。保養が続けられるのは、福島の子どもたちを応援してくださるみなさまからのご寄付のおかげです。感謝いたします。

★ 球美の里の総会を開催しました ★

2017年6月3日に、球美の里の第5回定期総会を新宿区の施設で開催しました。2016年度の事業報告・決算報告、2017年度の事業計画案・収支予算案などを決議し、無事に終了しました。

2016年度は、経常収益が8,050万円（うち受取寄付金7,373万円、受取助成金430万円など）、経常費用が9,012万円（事業費&管理費）ですが、この中には原

価償却費など660万円が含まれています。これらを引くと単年度赤字が約300万円となっています。2017年度はさらに経費を切り詰め、また寄付金や助成金を増やす努力をして、保養が続けられるように努めます。詳細な会計報告（活動計算書・貸借対照表など）は、近日中（2017年7月中）に沖縄・球美の里のホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

★ ご寄付のお礼とお願い ★

東日本大震災による福島第一原発事故によりすでに6年余が経っていますが、原発事故で被曝した地域に住む子どもたちの保養は、これからもずっと必要です。一方で、先日の九州の大雨や昨年の熊本地震など、今や日本各地で大きな天災も起きており、多くの方が

日々の生活の再建に大変な思いで取り組んでいらっしゃると思います。福島原発事故への社会的な関心の低下もあり、球美の里への寄付も少しずつ減少しています。みなさまからの引き続きのご支援をお願いいたします。

◎ご支援を決定してくださった大口寄付団体／助成団体のみなさま

◇大口寄付団体：石井竜也グラウンドエンジェル、生活協同組合パルシステム東京、タッチストーンフォーキッズ、DAYS被災児童支援募金、ドテラ・ジャパン、ドルトムント独日協会、未来の福島こども基金

◇助成金：アクト・ビヨンド・トラスト、3.11を忘れないin静岡、新宿区協働推進基金 NPO活動資金助成、ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業、沖縄県共同募金会

◎ご寄付いただいたみなさま（団体からのご寄付・上記以外／2017年1～6月）

※紙面の都合により団体からのご寄付のみ記載させていただきます。ご了承ください。

ART CHARITY WISHING HEARTS、愛知レンゾウインヨガ、アイ.メッツ、葦の会、あやカルチャ、彩雲リーディング、WE21ジャパンおだわら、MUPE、お絵描きぽけっと、核戦争防止神奈川県医師の会、風街ろまん、カノンとノディンのおでぶな上映会、ギター弦の会、kitchen5、ギフトショップ くすの樹、喜楽会、キュレスト山森小児科、クールグルヌイエット、コドモシエンルーム コクーン、シナリオセンター、ジャパン・カインドネス協会、ジュピマール、

Shimodozono International GmbH、パルシステム東京世田谷連絡会、「太陽の蓋」上映実行委員会・豊後高田、高田造園設計事務所、タローベーカーリー、チームみつばち、沼津岳南教会、フライブルク市民大学、BLUEMOON CANDLE OKINAWA、普連土学園宗教委員会、放射能汚染と気象を考える会、Mark Akixa Office、メイクボランティア 元気で、ゆいま〜る那須ショップま〜る、ゆーみんのヨガ、横川アートチャリティーフエスティバル、保養保護者有志

沖縄・球美の里への寄付口座／クレジットのご案内

ゆうちょ銀行	00160-6-634014 口座名 特定 非営利活動法人 沖縄・球美の里
三菱東京UFJ 銀行	高田馬場支店 (053) 普通 1231737 口座名 特定非営利活動法人 沖縄・球美の里
クレジットで 決済 (PAYPAL)	沖縄・球美の里のホームページ 「寄付する」のページからお申し 込みいただけます。

＊お願い：寄付をしてくださった方は、払込用紙に住
所・氏名・連絡先の電話番号かメールアドレスを記載

していただきますよう、お願いいたします。払込用紙
を使わない場合は、お礼の連絡や領収書の送付のため
に、電話やメールでの連絡でも結構です。お手数をお
かけしますが、よろしくお願いします。

＊認定NPO法人への寄付の寄付控除について：認定
NPO法人に寄付された場合、所得控除・税額控除の対
象になります。球美の里も2015年7月に活動内容が認
められて、認定をいただくことができました。控除を
受ける場合は領収書が必要となりますので、球美の里
の東京本部からお送りする領収書を保管の上、確定申
告をしてください。詳細は地域の徴税窓口か球美の里
までお問い合わせください。

★ ボランティア募集 ★

球美の里では、お手伝いをしてくださるボランティア
の方を常に募集しています。お手伝いいただきたい内
容は、久米島での子どもたちのお世話（保養実施時／引
率同行含む）と、東京本部の事務・発送作業のお手伝い
などです。お手伝いいただける方、ご関心をお持ちくだ

さった方は、東京本部までご連絡ください。ボランティ
アのメーリングリストに登録させていただき、お手伝
いをお願いしたい時に、ご案内をお送りします。球美の
里のパンフレットや振込チラシの配布のご協力も願
いします。

★ 球美の里のNEWS LETTER『球美の里だより』2号を発行します ★

今年1月に、NEWS LETTER『球美の里だより』の第
1号を支援してくださっているみなさまにお届けしま
したところ、大勢の方からエールをいただきました。
ありがとうございます。今回、2号をお届けします
ので、ご一読ください。ご家族や友人にも読んでいた
だいて、球美の里への支援の輪を広げていただけると
嬉しいです。ご意見や感想、今後のご希望などについ
てもお聞かせください。

『球美の里だより』は、球美の里のホームページでも
ご覧いただけます（ホームページではカラーで掲載し
ています）。「『球美の里だより』はホームページで
見るので郵送不要」という方は、球美の里東京本部ま

でご連絡ください。どうぞよろしくお願いします。

☆連絡先：沖縄・球美の里 東京本部

メールアドレス tokyo@kuminosato.net

電話：03-6205-6139 FAX：03-6205-6140

＊メールをいただく際には、パソコンからのメールを
受信できるアドレスをお知らせください。住所・氏
名もご記入くださいますよう、お願いいたします。

☆『球美の里だより』は年数回の発行を予定していま
す（不定期）。

☆ご寄付くださる方の便宜を考慮して郵便局の払込
用紙を同封させていただきましたが、寄付を強要す
るものではありません

認定 NPO 法人沖縄・球美の里 NEWS LETTER『球美の里だより』 No.2

発行 認定 NPO 法人 沖縄・球美の里 東京本部

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-19-7 タックイレブン高田馬場 702 号室

TEL：03-6205-6139 FAX：03-6205-6140 メール：tokyo@kuminosato.net

ホームページ：www.kuminosato.com 保養ブログ http://kuminosato.blog.fc2.com/

フェイスブック https://www.facebook.com/kuminosato.net

ツイッター https://twitter.com/kumi_no_sato

インスタグラム：https://www.garow.me/tags/球美の里 ☆インスタグラム始めました☆